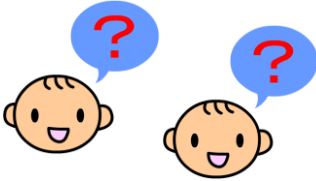


支援部だより

堺市立上神谷支援学校
支援部だより
2020.7.10 発行
No.1

堺市では、支援学校センター的機能の一環として、児童生徒のニーズに応じた支援・指導の充実のために、「外部専門家派遣」（昨年度までは「自立活動アドバイザー派遣」）の名称で外部専門家（ST・OT等）との連携を行っています。言語聴覚士（ST）や作業療法士（OT）の先生方に実際の児童生徒の様子を見ていただき、適切な支援方法等についてアドバイスを受けて、ニーズに応じた教育ができるように取り組んでいます。



昨年度の相談事例の一部
をご紹介します

☆外部専門家派遣 相談事例 《言語聴覚士(ST)》

- ◎あまり噛まずに食べることが多い。咀嚼力をあげる方法を教えていただきたい。
- ◎発音が不明瞭で聞き取りにくい。字が読めるようになってきたので、音の誤りを訂正させる支援方法が知りたい。
- ◎いろんな場面で指示待ちの傾向がある。今の段階でどのように指導をすればよいか。
- ◎視覚障害もある児童生徒にどのような支援をしていってあげたら良いか教えていただきたい。
- ◎集団の中に入りにくい。クラスの子ともたちとのコミュニケーションの取り方について。



☆外部専門家派遣 相談事例 《作業療法士(OT)》

- ◎全身の筋肉が弱く姿勢を保持するのが難しい。学校生活で姿勢を保つためにできる工夫を教えていただきたい。
- ◎トイレでの排尿時、最後までしっかり排尿できるような手立てがあれば教えてほしい。
- ◎イライラして服を破ることがある。ストレス発散方法について。
- ◎箸の操作について。エジソン箸からのステップアップの方法。
- ◎感覚過敏や睡眠リズムについて。



- 相談の申請書は、配布文書→支援教育課→特別支援教育推進事業 支援学校センター的機能にある「(様式1)申請書兼報告書」を管内学校メールにて支援教育課に送ってください。

*教材や支援機器等の貸し出しを行っております。電話やメールにてご相談ください。

《支援機器一例》



			
スーパートーカー	ピックマック	イヤマフ	タイムタイマー
1つ～8つの枠にシンボルカードを入れて、各々にメッセージを録音・再生できるVOCA*です。	1つの音声を録音・再生できる、シンプルなVOCA*です。	音の刺激が苦手な人のための防音保護具です。	時間を「見える化」できます。

*VOCA・・・Voice Output Communication Aid（音声出力コミュニケーション支援機器）